

# SFTS からあなたと ペットを守るために

(重症熱性血小板減少症候群)

SFTS に感染した猫の約 60%、  
犬の約 40%が死亡します。  
人にも感染します。  
人の致死率は 10~30%です。  
大変こわい病気です。  
このリーフレットをよく読んで  
感染しないように気をつけてください。





SFTS（重症熱性血小板減少症候群）ってどんな病気？

SFTSウイルスというウイルスを持ったマダニに咬まれると感染して、発症する病気です。  
マダニは家ダニとは違うので、屋内だけで飼育されているペットはSFTSウイルスに感染する心配はありません。



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



感染すると、どんな症状がでますか？

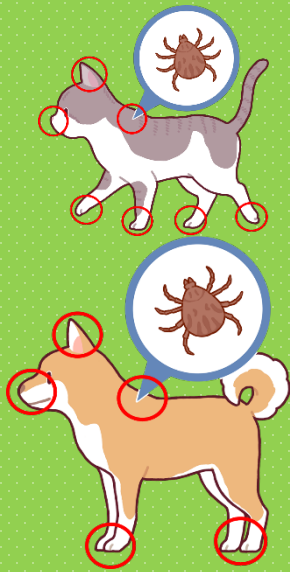
猫の場合は、熱が出て、元気がなくなり、食欲が低下して、吐いたり、尿が黄色くなります。  
犬の場合も猫と同じですが、下痢をして、血便がでます。  
あっという間に重症になって、感染した猫の約60%、犬の約40%が助かりません。



ワクチンや薬で予防はできないのですか？

今のところ、ワクチンも予防薬も治療薬もありません。  
熱や下痢などの症状をやわらげる薬を投与するしかありません。ですから、マダニに咬まれないようにすることが重要です。  
ペットの体にマダニがついていたら、無理にとろうとせず、すぐに動物病院に相談してください。





## ペットにマダニがついていないかチェック！

マダニがいるのは、草むらや山林などです。たいてい草むらの葉っぱの先端や裏側にいて、動物や人が近づくと、その体に飛び移って吸血します。吸血する際にウイルスが感染します。猫が外から帰ったり、犬と散歩から帰ったら、マダニがつきやすい頭、耳、指の間、顔まわりなどを重点的にチェックしてあげましょう。

外から帰ってきたペットが、発熱、元気がない、食欲がない、尿が黄色といった症状がでたら、すぐに動物病院に☎電話で相談してください。また、人も、感染したペットに咬まれたり、感染したペットの唾液、尿、便に直接接触したりするとSFTSウイルスに感染することがありますので、十分に注意してください。



## 自分も感染しないように気をつけましょう！

SFTSウイルスは人にも感染します。草むらや山林に入るときには、肌を露出しないようにしましょう。市販の虫よけスプレーは「ディート」「イカリジン」という成分が入ったものをおすすめします。帰宅したら、上着や作業着は外で脱いで、シャワーや入浴で体にダニがついていないか確認しましょう。

## もし自分がマダニに咬まれていたら！

ダニ類の多くは長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置を受けて下さい。数週間程度は体調の変化に注意して、発熱等の症状がでた場合は、医療機関で診察を受けてください。



- ✓ 屋外に出る犬や猫で食欲・元気がまったくない
- ✓ 下痢・嘔吐などの消化器症状がある
- ✓ 発熱がある または ありそう
- ✓ 尿が異常に黄色い

このような症状がある場合は、かかりつけの動物病院  
にお電話にてご相談ください。

また、面倒を見ている飼い主の方も感染する危険性があります。排泄物や唾液などの体液には直接触らないようにして、適切な感染防御を行うことをお勧めします。



公益社団法人

静岡県獣師会